

信州上田学
上田ってどんなまち
面積・人口・気候・地形

2020 10 1

公立大学法人長野大学 市川正夫

1 地誌編 ①面積

長野と松本は東京23区よりも広い

上田は . . .

・ **東京23区**の面積626.66km²

松本市は長野県内市町村第一位で978.47km²

北アルプスの安曇村(401.50)など加わり3.7倍

長野市は長野県内市町村で第二位で834.81

鬼無里村(134.99)と戸隠村(132.76)が加わり2.1倍

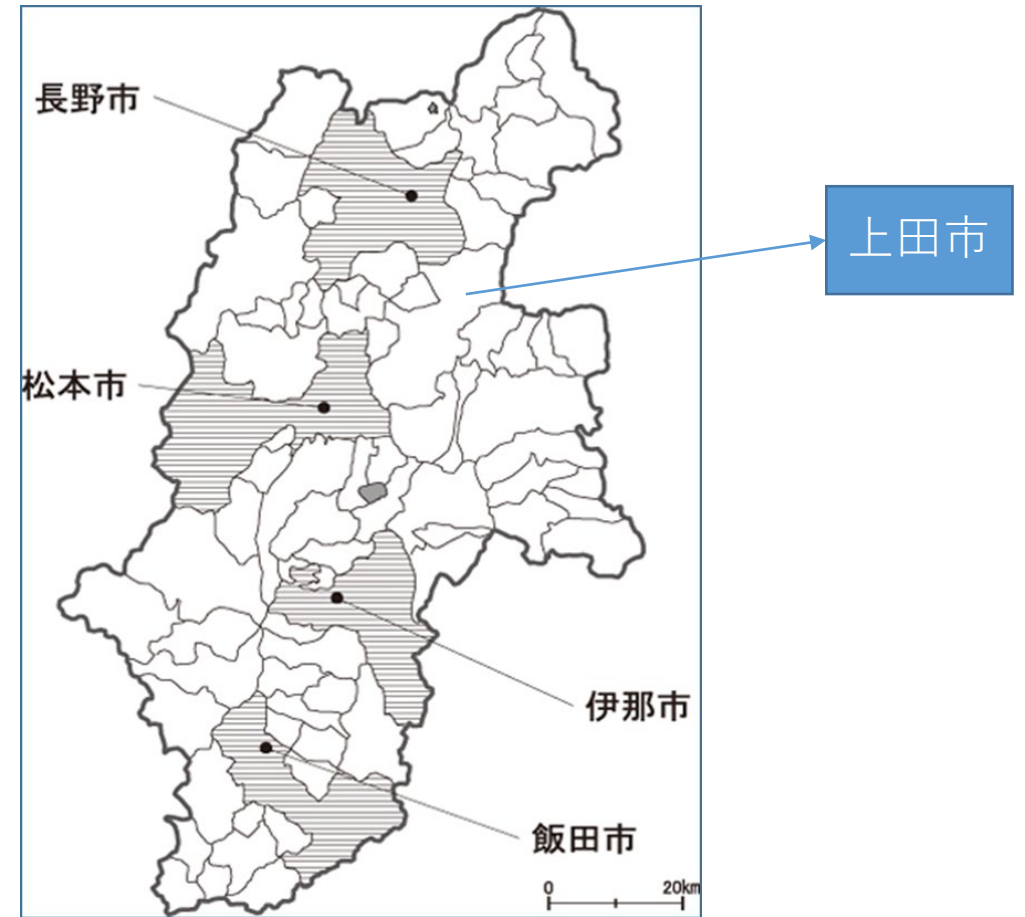
旧市街(404.15)が広い

上田市は552.04で長野県の市町村では第六位

長野県市町村上位面積

1松本市	978.47km ²
2長野市	834.51
3伊那市	667.90
4飯田市	658.66
5大町市	565.15
6上田市	552.04
※東京23区	626.66

長野県統計による



②三大都市で県人口の三分の一以上

長野県205万7702人

長野市37万1012 人で県内の18.0%を占める

松本市24万0905人で県内の11.7%を占める

・両市で29.7%

上田市は15万4928人で7.5%で三大都市で県内の37.2%

※県内では三大都市など地域都市に人口が集中し、

総合病院、学校、大型小売店舗などが充実

2019年3月1日の人口

(長野県統計書)

上田は県内一、人口が分散

D.I.D(人口集中地区、**4000人/km²**)

Densely Inhabited Districtの略

長野市の**66.4%** D I D人口**25.3万人**

松本市の**63.0** D I D人口**14.5**

上田市の**33.0** D I D人口**5.2(全体が15.5万人)**

(2015年国勢調査)

※上田は市街地の北部、西部、城下、神川、神科などに

人口が分散しており、**長野・松本と比較して上田の人口は人口集中度が低い。**

2 気候編 ①国内有数の寡雨地域

Q日本一降水量の少ない上田市か北海道東部か

- ・ 北海道北見市常呂(ところ)町 700.4mm
美幌町716.5 十勝市800.0 網走市839
- ・ **上田市(市役所)890.8 上田市丸子871(1963 -88)**
- ・ 長野市932.7 松本市1067

他北海道東部が日本一少ない

北海道以外では上田市が最も少ない

※ 1981～2010年の平均値
(気象庁)

なぜ北海道は降水量が少ない

1 北海道には梅雨がない

※梅雨前線が北上しない

2 北海道東部は親潮(千島海流、寒流)の影響で 上昇気流が発生しにくい。



Q降水量が少ない上の知恵 上田市塩田平の溜池



Q

寡雨と台風の少ないことは同じ要因

- ①長野県は日本アルプス・関東山地・三国
山脈など南北に山地・山脈に囲まれている
- ②偏西風が多く、台風や低気圧による風や雨
雲が屏風のような山地・山脈にさえぎられる



長野県の多くの盆地は寡雨(かう)地域であり
台風の被害が少ない

国内でも珍しい 雨乞い祭り「岳の幟」

水に苦しんだ塩田では、水源となっている夫神岳(おがみだけ)に水の神が宿るとされた

塩田平で行われる雨乞いの祭り、^{たけ}岳の幟。国の重要無形民俗文化財に指定され、その起源は室町時代にさかのぼるとされる。(上田市)



南北の山地・山脈に囲まれている



②夏涼しく乾燥した気候

・気候

	長野	松本	上田	札幌	尾鷲	網走
年平均降水量	932.0	1031.0	890.8	1158	3848.8	787.6
年平均気温	11.9	11.8	11.9	8.0	・ ・	・ ・
1月の平均気温	-0.6	-0.4	-0.5	-3.6	・ ・	・ ・
8月の平均気温	25.2	24.7	25.0	23.2	・ ・	・ ・
気温の平均年較差	25.8	25.1	26.0	25.8	・ ・	・ ・

※降水量はmm

気温は℃

1981-2010年の平均値

年間日照時間が長い

甲府市	青森市	長野市	松本市	上田市
2187.8 時間	1622.4	1939.6	2097.5	2250.2

- ・ 県庁所在地で最大の甲府市と比べても62.4時間も長い

※単位は年間の日照時間

(気象庁)

日照時間は果樹栽培や花卉栽培の紫外線が強く。果実や花の色づきがよくなる。

3 地形編①市街地は千曲川の河岸段丘上 上田の旧市街地

①上田城泥流堆積物を基盤

②千曲川右岸は千曲川により形成された第二段丘面上

※第二段丘面の特色

- ・比高が2～3m、東は国分寺で西は上田高校南まで、この位置に上田城下が発展
- ・第二段丘崖は下が礫層、上部は5～6mの火山岩屑で砂礫層よりも崩れにくい、大きな石も含んでいる。
- ・北国街道は崖を登ると踏入で西の端は上田高校で終わる。
- ・縄文中期後葉から後期の遺跡(宮原遺跡)、中世以降に市街地化
- ・面積が広い。千曲川の氾濫の可能性が低い。

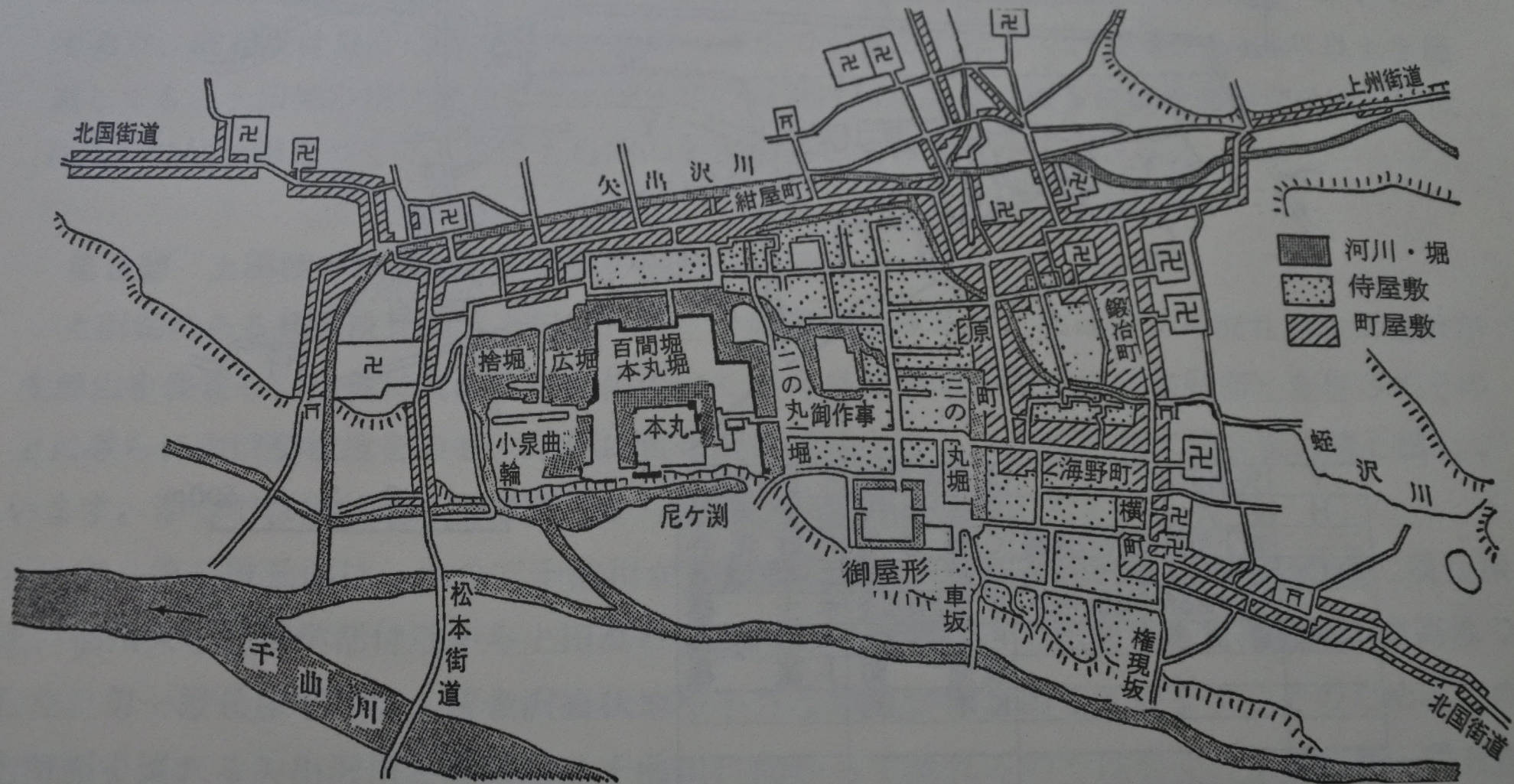




②上田の町は東西に細長い狭い場所に立地

- 1 千曲川に沿う北国往還(軽井沢の追分で中山道と別れ、現在の
上田・長野・新潟県へ)と松本へ行く松本街道と上州(群馬県)
街道を結ぶ十字路
- 2 上田城を建設する際、現在の城付近を流れている矢出沢川を
北に移動させ(瀬替え)が外堀にしている。
- 3 北国往還(街道)は上田城を巻くように形成
 - ※ 千曲川の氾濫による危険性が低い場所
 - 交易の拠点である上田の海野町・原町・紺屋町を通る
 - 市街地は東西の2～3段の河岸段丘上にあり発展の余地が低い





図Ⅲ-1-4 上田城下町地図 (天保8年、1837) 佐々木清司作成

瀬替え後の矢出沢川 ※人工的に川がつけられた

